

ヨシの飼料化と乳用牛への給与技術

「目的」

諫早湾干拓事業によって干陸化した潮受け堤防内管理地には、400haにヨシが群生しており、有用な粗飼料源と考えられる。そこで、ヨシをサイレージ化し、その栄養成分および乳用牛の泌乳生産性を明らかにする。

「方法」

ヨシをクローラ式の飼料イネ専用収穫機で収穫し、ロールベールサイレージに調製した後、消化試験によりTDN含量を求めた。また、ヨシを粗飼料とする混合飼料を乳用牛へ給与し、泌乳生産性を調査する。



ヨシの生育状況



収穫状況

「結果」

1) ヨシサイレージは開花期のソルガムサイレージと比べて、TDN含量(42.8%)が低く、総繊維および粗灰分の含有率は高く、その他の成分はほぼ同じ値であった。

表 1 番草ヨシサイレージの飼料成分

草種	粗タンパク質(%)	粗脂肪(%)	可溶無窒素素物(%)	粗繊維(%)	粗灰分(%)	総繊維(%)	TDN(%)
ヨシ	11.3	2.3	40.1	35.3	11.1	73.8	42.8
ソルガム ¹⁾	11.0	3.2	41.3	36.1	8.4	68.4	56.1

1) 開花期における子実型ソルガムで、飼料成分表から抜粋。

2) 泌乳牛において、ヨシサイレージ給与による泌乳生産性への影響はみられず、給与飼料乾物中1割程度の利用が可能であった。



図. 乳量・乳成分
いずれも有意差なし

以上のことから、ヨシは有用な粗飼料源であることが示唆された。